

# 活力あるまち

施策の  
方向性

- 3-1 地域資源の保全及び産業と連携した活用
- 3-2 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成
- 3-3 基幹産業である農林業の再生・活性化
- 3-4 商工業の再生・活性化
- 3-5 観光戦略の推進

評価指標	現状値		目標値 (2029年)	評価指数の考え方
	前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時		
地域資源を 活かした 商品開発数	37件 (2017年)	40件 (2020年)	60件	【地域資源を活かした産業の活性化】 地域の特性を活かした産業振興等により、地域資源を活かした商品(食品、農林産物、観光商品等)の開発が進展すると考えられます。
観光入込客数	1,401千人 (2017年度)	976千人 (2020年度)	2,000千人	【観光の活性化】 市内における経済活動の活発化を目指して、地域資源を活用した観光戦略を推進することで、観光入込客数が増加すると考えられます。



## SDGs



### 施策の方向性

### 3-1 地域資源の安全及び産業と連携した活用

#### 現状

- ▶ 宇陀市には日本遺産に認定された室生寺をはじめ、国・県・市指定の文化財や歴史的な街なみ、歴史と文化の中で継承されてきた魅力的な行事等が存在
- ▶ 松山地区伝統的建造物群保存地区の充実、史跡宇陀松山城跡の史跡指定地の拡大および公有化に向けた取組みの実施
- ▶ 伝統文化等の担い手が減少しており、保存継承が困難
- ▶ 宇陀市産材の利用促進に向けた支援
- ▶ 宇陀市の魅力をブランドとして確立していくために情報発信

国・県・市指定文化財登録数 (令和3年4月1日現在)

総数	国指定	県指定	市指定
	116	60	40

※特別天然記念物(オオサンショウウオ・カモシカ)を含む

#### 課題

- ▶ 史跡宇陀松山城跡は、2017年の台風による被害を受け復旧工事の実施
- ▶ 伝統文化等の継承に向けて担い手を育成
- ▶ 豊かな自然・歴史・文化といった、宇陀市の魅力を発信及び有効活用
- ▶ 宇陀の木のブランド化に向けた情報発信
- ▶ 地域資源のブランド化による付加価値をの創出



## 目指すまちの姿 3

### 施策

#### 1 歴史・文化資源の整備や保護・活用を進めます

【主な事業】文化財保存修理、民俗文化財伝承、史跡宇陀松山城跡保存整備

- ・伊勢本街道や伊勢表街道、街道沿いの旧旅籠「あぶらや」、室生寺門前等の街なみを保存継承するとともに、近隣市村と連携した活用を推進
- ・松山地区まちかどラボを拠点として、歴史・文化資源の活用に取り組むとともに、歴史的街なみや史跡の保護、整備を推進
- ・郷土の歴史や文化財、伝統文化に対する理解を深めるために埋蔵文化財や郷土資料等の展示、講演会、講座等を実施
- ・伝統文化や祭り、民俗行事、郷土芸能等の保存や後継者育成を担っている団体を支援
- ・遺跡の発掘調査を行うとともに、保護対策を講じることで後世に郷土の歴史を伝達
- ・国・県・市指定文化財の所有者が行う建造物等の保存修理や防災設備の設置・点検等に対して支援

(写真) 室生寺・復元された宇陀松山城の3D

#### 2 宇陀産の誇れるものを「大和高原宇陀ブランド」として推進します

- ・農林産物や特産品のほか自然環境・歴史文化資源等の地域資源を「大和高原宇陀ブランド」として、YouTube等により広く発信するとともに、YouTuberを育成
- ・商工会や観光協会、金融機関等と連携し、地域商社を整備し、農林産物に付加価値のついたブランド品を育成
- ・都市部での販売を促進するため、アンテナショップを整備し、販路を拡大

#### 関連する計画

- 史跡宇陀松山城跡保存整備基本計画
- 史跡森野旧薬園保存活用計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 歴史的風致維持向上計画
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本協定
- 宇陀市松山伝統的建造物群保存地区保存計画

**日本遺産**：文化庁により認定された、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーのことです。

**地域商社**：地域の多くの関係者を巻き込み、農産物等の地域の資源をブランド化し、生産、加工から販売まで一貫してプロデュースし、地域内外に販売する組織のことです。

## SDGs



### 施策の 方向性

## 3-2 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成

### 現状

- ▶ 高齢化が進む農林業の担い手が不足
- ▶ 地域おこし協力隊制度を活用し、薬草など地域の資源を活かした起業に向けての活動
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークなど、働き方が変化



### 課題

- ▶ 空き家・空き店舗の利活用の促進
- ▶ 離農により発生している遊休農地の有効活用の促進
- ▶ 働き方の変化や地方回帰への関心の高まりに応じた働く環境づくりの確保
- ▶ 市内での就職を促進するために、雇用の拡大
- ▶ 経営が不安定な就農直後の担い手に対する支援



## 目指すまちの姿 3

### 施策

#### 1 起業家など多様な人材を育成します

【主な事業】大和高原しごとづくり事業、  
農業サポート人材育成事業、  
林業従事者人材育成事業

- ・空き家・空き店舗の活用など起業に向けた支援を充実
- ・地域おこし協力隊等を活用し、農林業の担い手の確保
- ・地域おこし協力隊として活動してきた隊員が定着し、起業できるよう支援
- ・多様な働き方に対応したサテライトオフィスの整備
- ・土地を有効活用し、既存事業所の規模拡大につなげ、雇用を確保できる環境づくりを推進
- ・新規就農者が安定して農業経営ができるよう支援
- ・企業等と連携して、地域資源を活かした雇用の場の創出を推進

(写真) 地域おこし協力隊の活動(空き家を活用したもの)

### 関連する計画



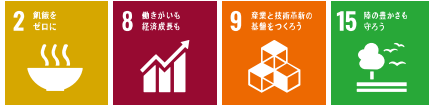
●大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定

●宇陀市過疎地域持続的発展計画

サテライトオフィス：企業や団体の本拠地から離れた場所に設置されるワークスペースのことです。

地域おこし協力隊：都市地域から過疎地域等の条件不利地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や農林水産業への従事、住民支援等を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みのことです。

## SDGs



### 施策の方向性

### 3-3 基幹産業である農林業の再生・活性化

#### 現状

- ▶ 伊那佐東部地区に県東部で初の「特区」となる特定農業振興ゾーンが奈良県により設定
- ▶ 中山間地域等直接支払事業や多面的機能支払交付金事業等の活動を継続して行っている組織（集落）に対して支援を行っているにもかかわらず、高齢化が進行
- ▶ 若年層の農林業や農山村への意識の低下や後継者不足により、農林業経営が難航
- ▶ 農業経営における農業用機械更新費の負担
- ▶ 山間部でのシカの日撃や被害が増加
- ▶ 電気柵等の設置により、イノシシの被害は一定の効果が出ていますが、シカ等の被害が増加
- ▶ 害獣駆除と企業活動を併せ持つジビエ利活用施設を建設



#### 課題

- ▶ 大宇陀南部地域の農業用水である宮奥ダムの老朽化対策を推進
- ▶ 農林業畜産業の効率的で安定した経営の促進
- ▶ 農林畜産物業の安定した販売に向け、生産・流通体制を強化
- ▶ 付加価値の高い農作物づくりの推進
- ▶ 森林の保全を図り、林業施業の基盤を強化



## 目指すまちの姿 3

### 施策

#### 1 地域の特性を活かした農業生産基盤の整備と農地の有効活用を推進します

【主な事業】 特定農業振興ゾーン推進、多面的機能支払交付金

- ・ 農業の担い手への農地の集約と集積を進め、スマート農業やデジタル技術の活用による次世代農業を推進することで、高収益作物への転換を促進
- ・ 伊那佐東部地区に設定されている特定農業振興ゾーンがモデル地区となる取り組みを行い、他地域にも設定されるよう生産性を向上
- ・ 農道の整備・維持を進めるとともに、農業用水路等の長寿命化や農地の保全等の活動に取り組む組織（集落）を支援
- ・ 安定した農業用水を確保するため、市宮宮奥ダムの管理運営を行うとともに老朽化対策を実施

#### 2 人材の確保と育成など魅力ある農林畜産業経営を強化します

【主な事業】 中山間地域等直接支払交付金事業、  
ジビエ利活用プロジェクト、  
有害鳥獣対策事業

- ・ 地域農業を支える担い手が安定した農業経営を行えるよう支援
- ・ 化学肥料・化学合成農薬の低減する取り組みと合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動（環境保全型農業直接支払交付金事業）を推進
- ・ 防除技術を持つ人材を育成し、地域ぐるみで効率的な鳥獣害対策を支援
- ・ シカ・イノシシを地域の資源と位置づけ、良質な食肉として生産するためにジビエ利活用施設の整備を推進
- ・ 奈良県フォレスターアカデミーと連携し、林業の担い手確保や活性化を支援
- ・ 畜産業では、奈良県と連携しながら、鳥インフルエンザや豚コレラ等の感染症対策を促進

(イメージ)  
スマート農業又はジビエ加工場

### 3 農林畜産物の生産・流通を推進します

【主な事業】 薬草を活用したまちづくり事業、うだ産フェスタ事業

- ・農林産物品評会やうだ産フェスタを開催し、農林産物生産者等の営農意欲や生産品の品質を向上
- ・宇陀市薬草協議会との連携強化や地域おこし協力隊制度の活用により、大和当帰やセネガ等の薬草栽培を推進するとともに、薬草のまち、薬草の魅力を発信
- ・米の生産調整のため、耕作しない水田で生産する黒大豆・小豆の産地化・ブランド化を図るとともに生産者を支援
- ・宇陀市産木材を利用した新築や増改築に対して支援を行うとともに、宇陀の木ブランド化や間伐材の利用を推進
- ・農産物直売所等において、農林畜産物や特産品等を販売するなど流通体制を強化

### 4 山林を適切に管理します

【主な事業】 美しい森林づくり基盤整備事業、里山の広葉樹林再生事業、森林環境譲与税推進事業

- ・作業路の開設など森林施設の効率化や間伐を推進し、森林の多面的機能を維持
- ・森林施設の集約化に必要となる山林境界の明確化の推進
- ・里山の針葉樹林を広葉樹に転換するなど、水源涵養機能等を維持

## 関連する計画



- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市森林整備計画
- 宇陀市特定間伐等促進計画

- 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- 公共建築物における宇陀市産木材利用促進方針

**特定農業振興ゾーン**：農地を有効に活用し、農業の生産性の向上を図るために奈良県がエリアを設定するものです。

**多面的機能支払交付金事業**：農地や水路等の基礎的な保全活動や質的向上を図る共同活動や、水路や農道等の施設の長寿命化に対して支援する事業です。

**スマート農業**：情報通信技術（ICT）やロボット、ドローン、自動運転技術等を活用して農作業を省力化、精密化し、生産性を向上させる農業のことです。

**中山間地域等直接支払事業**：平地から山間地にかけて、傾斜地が多く農業が不利な地域において、継続的な農業生産活動を行う農業者に支援する事業です。

**ジビエ**：狩猟で捕獲した野生鳥獣の肉や料理のことです。



## 目指すまちの姿 3

### SDGs



### 施策の 方向性

## 3-4 商工業の再生・活性化

### 現状

- ▶ 大和高原の玄関口である榛原駅周辺では、県施設跡地等の未利用地やビルの空き室が発生
- ▶ ウッピー商品券やプレミアム八っぴー商品券を発行し、個人の消費喚起を促し、地域経済を活性化
- ▶ 経営者の高齢化が進み、後継者不足による廃業が発生

### 課題

- ▶ 榛原駅周辺の未利用地やビルの空き室等の有効利用。
- ▶ 既存事業所が有する技術を生かし、時代に即した新たな分野への進出を促進
- ▶ 既存事業所の事業承継や事業活動に対する支援
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大など予測不能な事態に備え、事前対策を促進し、事業継続力の強化を支援
- ▶ 今後の宇陀市の地域経済を支えていくために、農林畜産業や地場産業の振興とともに、既存事業者への支援や新たな企業を誘致
- ▶ 創業や企業誘致による事業所の増加を推進

## 施策

### 1 榛原駅前の活性化を推進します

【主な事業】 榛原駅前交流施設整備事業

- ・大和高原の玄関口となる榛原駅前の空き地を活用して交流施設を整備するとともにマルシェ等を開催し、にぎわいと交流の拠点づくりを推進
- ・奈良県東部農林振興事務所や市有地等の有効利用を推進
- ・大都市に近い立地や豊かな自然を活かして、駅前や駅前商店街のにぎわいづくりを推進

### 2 地元で活動する事業者を支援します

【主な事業】 ウッピー商品券発行事業、宇陀商工会支援事業、中小企業資金融資事業

- ・市街化調整区域に地区計画を定め、環境と調和した企業の事業拡大、活性化を推進
- ・地場産業である毛皮革産業の振興を図るため、奈良県等と協力し、商品開発や販路拡大、及び工場団地機能の充実について支援
- ・宇陀商工会と連携して、ウッピー商品券やプレミアム商品券を発行することで地域経済の活性化を推進
- ・経営相談や事業継承等の商工会の活動を支援
- ・奈良県信用保証協会や金融機関と連携した事業経営に対する支援
- ・新型コロナウイルス等の感染症が発生した場合でも事業を継続できるよう、事業継続に向けた取り組みを推進

### 3 企業誘致を進めるとともに新たな産業の展開を支援します

【主な事業】 企業立地推進事業、創業支援助成事業

- ・企業を誘致しやすい基盤整備を図るとともに、自然が豊かで大都市に近い便利な田舎を活かした企業誘致を推進
- ・榛原駅周辺ビルの空き室や空き店舗等を活用したサテライトオフィスの整備を推進
- ・奈良県や宇陀商工会と連携して、市内で創業する事業者を支援

## 関連する計画



●宇陀市都市計画マスタープラン

●奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画

●宇陀市過疎地域持続的発展計画

●宇陀市空家等対策計画

## 目指すまちの姿 3

### SDGs



### 施策の 方向性

## 3-5 観光戦略の推進

### 現状

- ▶ 宇陀市には伊勢街道や日本遺産に認定された女人高野室生寺等の歴史・文化資源や豊かな自然、温泉といった様々な観光資源を保有
- ▶ 外国人観光客の受け入れ環境を整えるため、パンフレットの多言語化やフリーWi-Fiスポットの設置等を整備
- ▶ 「池の水面が鏡張りのように木々を映し出す」として龍王ヶ淵は人気が拡大
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出の自粛やイベントの開催が困難になるなどの影響により、観光客が減少
- ▶ 市内宿泊者の約 8 割を受け入れている保養センター美榛苑は、供用から 40 年以上が経過し、老朽化が進行。

### 課題

- ▶ 道の駅など老朽化している観光施設について、施設の魅力向上を推進
- ▶ 外国人観光客の受け入れ環境を整え、誘客に向けて情報発信
- ▶ 地域活性化や賑わいを創出するために地域資源を連動。「関係人口」を増やすため、新たなファンの獲得を推進
- ▶ ターゲットに合わせた観光資源のPR
- ▶ 広域での周遊・滞在型観光に向けた、周辺自治体との連携強化
- ▶ 今後の宿泊施設のあり方を検討。



## 施策

### 1 魅力ある地域資源を維持し、観光地として整備します

【主な事業】 龍王ヶ淵環境整備事業、

菟田野イベント広場整備事業

- ・伊勢街道や東海自然歩道等のハイキング道、登山道、レンタサイクル道だけでなく、案内情報が不足している誘導看板を整備し、周遊環境を充実
- ・新たな宿泊施設の誘致や保養センター美榛苑の利活用を検討しながら、宿泊環境の充実に取り組むなど、滞在型観光を推進
- ・観光需要に対応した駐車場やフリー Wi-Fi スポット等の整備を進めるとともに、老朽化している観光施設の魅力向上
- ・近年注目が集まっている「龍王ヶ淵」など新たな観光資源を掘り起こして、地域資源を活かした観光を推進
- ・観光施設の多言語表記や観光看板の多言語化、トイレの洋式化など、外国人観光客の受け入れ環境を充実

【写真】又は【イメージ】又は【図】  
龍王ヶ淵、菟田野イベント広場、  
伊勢街道・東海自然歩道

### 2 満足度を高める取り組みを推進し、観光客や関係人口を増やします

【主な事業】 記紀万葉推進事業、宇陀四季彩推進事業、

室生口大野駅「おもてなしステーション」事業 スポーツツーリズム推進事業

- ・古事記・日本書紀・万葉集や伊勢街道等の歴史・文化資源を活用した事業を展開
- ・日本遺産である女人高野室生寺でのイベントを関係市町と連携、室生寺の誘客や門前の商店を含めた地域活性化を推進
- ・うだ・アニマルパークや松山地区伝統的建造物群保存地区等への誘客について奈良県と一体となって推進
- ・観光協会等との連携の強化を図りながら、地域に根付いた観光イベントの支援や観光施設等での「おもてなし」の向上
- ・民泊による滞在型観光を支援
- ・スポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致・開催を行うことで、交流人口を増加させるとともに、市内に滞在することで、地域経済の活性化を推進

### 3 観光PRや情報発信を強化します

【主な事業】 大和高原（東吉野）観光振興協議会負担金、団体旅行誘致推進事業

東奈良・名張圏域における広域連携観光事業

- ・ホームページやSNS等を活用したターゲットに合った戦略的な情報発信を行うとともに、旅行会社への営業や宣伝活動を実施
- ・他市町村と連携して、大和高原地域の魅力を都市部を中心にPRするとともに、イベントを開催するなど広域での周遊・滞在型観光を推進

## 関連する計画

●宇陀市観光基本計画

●奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本協定

●宇陀市過疎地域持続的発展計画

**スポーツツーリズム**：スポーツイベントへの参加やスポーツ観戦のための旅行やそれに伴う周辺観光など、スポーツに関わる様々な旅行のことです。  
**フリーWi-Fiスポット**：パソコンやスマートフォン等を無線でインターネットに接続できる環境を開放しているエリアサービスのことで、誰でも無料で利用できます。

